

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社多摩川ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榑沢 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部兼財務経理部長 (氏名) 後田 晃宏 (TEL) 03-6435-6933  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,923	5.7	212	△1.3	209	△4.1	120	△36.9
26年3月期第2四半期	1,820	14.5	215	129.2	218	163.0	190	108.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 120百万円(△37.1%) 26年3月期第2四半期 192百万円(107.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	2.94	2.86
26年3月期第2四半期	5.51	4.84

(注) 当社は平成26年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。  
 上記株数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,243	2,819	66.0
26年3月期	4,210	2,638	62.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,799百万円 26年3月期 2,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年3月期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,534	8.7	506	6.1	489	2.4	450	3.3	10.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	41,865,000株	26年3月期	41,259,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	613,558株	26年3月期	613,112株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	40,946,932株	26年3月期2Q	34,584,750株

(注) 当社は平成26年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。  
 上記株数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国・欧州が景気持ち直し傾向にあるもののタイの政情不安など新興国経済の減速が続いております。国内においても、消費税率が引き上げられた4月以降の駆け込み需要の反動減から一時的に減速したものの、消費税率引き上げに備えた経済政策、税制措置や企業の収益改善を背景に設備投資、公共投資の増加基調が期待されています。しかしながら実体経済へは十分に波及しておらず、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループの主要な事業である電子・通信用機器事業につきましては、3.9世代携帯電話設備関連市場、防衛関連市場、公共・防災無線関連市場を中心とした拡販営業に加え、新規市場の営業活動も強化して参りました。また「製品の高付加価値化への取り組み」「事業領域の拡大・開拓」、「業務提携先との共同開発」の継続的活動により、新規開拓顧客と新市場領域からの引合いも増加致しており、太陽光発電所の安全かつ円滑な運営に不可欠なハイビジョン映像監視システムの開発に関しましても、同事業と太陽光発電所事業において新たなシナジー効果を生み出すことのできる重要な新商品として早期の導入を目指しております。更に、事業基盤を強固にするべく収益向上について継続的な業務改善活動を行った結果、一定の改善効果が表れて参りました。

太陽光エネルギー事業（太陽光システム販売事業及び太陽光発電所事業の総称をいいます。以下同じ。）につきましては、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」（以下、再生可能エネルギー特別措置法といいます。）の施行を受け、再生可能エネルギー、特に太陽光発電に対する注目度は格段に高まって参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は、1,921百万円（前年同期比3.9%減）、売上高は、1,923百万円（前年同期比5.7%増）となりました。損益面については、前年同期から減益し、営業利益212百万円（前年同期比1.3%減）、経常利益209百万円（前年同期比4.1%減）、四半期純利益120百万円（前年同期比36.9%減）となりました。

電子・通信用機器事業につきましては、通信インフラ市場の価格競争は、依然厳しい状態が続いておりますが、移動体通信分野においては、各通信事業者の通信品質向上に向けたトラフィック対策や不感知対策における設備投資が増加していることや、公共事業分野の需要が増加していることから、社会インフラにおける無線市場は堅調に推移して行くことが予測されます。こうした通信インフラ市場の需要拡大を背景に、引き続き当社の事業領域の拡大を推進していくとともに、収益の拡大に向けた業務改善活動を継続して参ります。

太陽光システム販売事業に関しまして、日本全国にその販路を拡大すべく、社内体制を整え、営業活動をさらに強化して参ります。

また、太陽光発電所事業につきましては、当社グループ全体で、安定的なエネルギー供給を目指すことにより地域や社会に貢献できるよう、発電所用地の確保から売電開始にいたるまで、一貫した体制を整えることによる収益の拡大を目指して参ります。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

#### ① 電子・通信用機器事業

移動体通信事業者による基地局設備投資は、基地局工事計画の見直しなどから出遅れておりますが、下期からは受注状況が回復したことに加え、防衛関連設備および公共無線関連設備の公共投資は継続していることなどから、受注高は1,769百万円（前年同期比8.3%増）、売上高は1,741百万円（前年同期比26.0%増）となり、セグメント利益は257百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

#### ② 太陽光システム販売事業

営業の効率化に向けた改善活動を行って参りましたが、工事着工の遅れにより出荷時期が延期したこと等により、受注高は152百万円（前年同期比58.4%減）、売上高136百万円（前年同期比67.0%減）、セグメント損失は500百万円（前年同期はセグメント利益47百万円）となりました。

#### ③ 太陽光発電所事業

下関市メガソーラー発電所が計画通り順調に売電を行っていることから、売上高45百万円（前年同期比93.2%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加し、4,243百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、1,424百万円となりました。

これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、前連結会計年度末に比べ181百万円増加し、2,819百万円となりました。

これは主に、四半期純利益の計上及び新株予約権の増加によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、有形固定資産の取得、借入金の返済等があり、前連結会計年度末に比べ446百万円減少し、1,317百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は129百万円（前年同期は394百万円の資金獲得）となりました。

これは主に売上債権の増加などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は325百万円（前年同期は210百万円の資金支出）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は8百万円（前年同期は418百万円の資金獲得）となりました。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な事項はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、105百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## (6) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は、以下のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月
				総額 (千円)	既支払額 (千円)			
㈱GPエナジー5	本社 (東京都港区浜 松町)	太陽光発電所 事業	太陽光発電所	459,560	—	自己資金 リース	平成26年 9月	平成27年 3月

(注) 金額には消費税等を含んでおりません。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,763,931	1,317,584
受取手形及び売掛金	1,112,227	1,512,515
商品及び製品	67,330	98,992
仕掛品	198,172	113,816
原材料及び貯蔵品	81,478	72,552
繰延税金資産	44,127	45,764
その他	153,263	34,572
流動資産合計	3,420,530	3,195,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	397,939	408,580
減価償却累計額	△283,509	△287,805
建物及び構築物(純額)	114,429	120,774
機械及び装置	488,144	488,144
減価償却累計額	△58,127	△72,286
機械及び装置(純額)	430,017	415,857
工具、器具及び備品	653,472	662,237
減価償却累計額	△566,237	△560,301
工具、器具及び備品(純額)	87,234	101,935
土地	51,697	254,397
建設仮勘定	35,000	72,105
有形固定資産合計	718,379	965,070
無形固定資産		
ソフトウェア	19,346	27,620
その他	12,000	12,000
無形固定資産合計	31,346	39,620
投資その他の資産		
投資有価証券	19,016	20,981
繰延税金資産	4,837	3,175
その他	22,995	23,579
貸倒引当金	△8,690	△8,650
投資その他の資産合計	38,158	39,086
固定資産合計	787,885	1,043,777
繰延資産		
株式交付費	1,707	4,135
繰延資産合計	1,707	4,135
資産合計	4,210,122	4,243,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	473,606	406,384
短期借入金	200,000	99,800
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	103,384	137,500
未払金	85,538	40,626
前受金	2,327	—
未払法人税等	83,054	99,623
賞与引当金	74,154	85,918
その他	87,864	77,859
流動負債合計	1,129,929	967,712
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	234,116	261,459
繰延税金負債	2,105	2,277
退職給付に係る負債	132,664	129,874
資産除去債務	10,651	10,743
その他	2,375	2,009
固定負債合計	441,912	456,363
負債合計	1,571,842	1,424,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,486	1,648,514
資本剰余金	1,619,877	1,069,857
利益剰余金	△554,930	138,422
自己株式	△60,940	△61,119
株主資本合計	2,629,493	2,795,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,279	3,943
その他の包括利益累計額合計	3,279	3,943
新株予約権	5,508	20,016
純資産合計	2,638,280	2,819,635
負債純資産合計	4,210,122	4,243,712



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,820,351	1,923,538
売上原価	1,273,599	1,306,684
売上総利益	546,751	616,854
販売費及び一般管理費	331,594	404,513
営業利益	215,157	212,341
営業外収益		
受取利息	17	427
受取配当金	39	45
為替差益	203	0
受取和解金	5,000	800
その他	2,042	3,711
営業外収益合計	7,302	4,984
営業外費用		
支払利息	1,688	4,370
営業債権売却損	840	362
その他	980	2,675
営業外費用合計	3,510	7,408
経常利益	218,950	209,917
特別利益		
固定資産売却益	1,988	4,519
その他	-	40
特別利益合計	1,988	4,559
特別損失		
その他	50	-
特別損失合計	50	-
税金等調整前四半期純利益	220,888	214,477
法人税、住民税及び事業税	25,755	94,339
法人税等調整額	4,357	△167
法人税等合計	30,112	94,172
少数株主損益調整前四半期純利益	190,775	120,305
少数株主利益	-	-
四半期純利益	190,775	120,305

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190,775	120,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,630	663
その他の包括利益合計	1,630	663
四半期包括利益	192,406	120,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,406	120,969
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	220,888	214,477
減価償却費	32,043	44,376
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△92	△40
製品補償引当金の増減額(△は減少)	30,017	-
受取利息及び受取配当金	△56	△472
支払利息	1,688	4,370
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,988	△4,519
売上債権の増減額(△は増加)	256,310	△400,287
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,313	61,619
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,620	△67,222
その他	△41,742	98,757
小計	432,134	△48,941
利息及び配当金の受取額	56	472
利息の支払額	△1,638	△4,483
法人税等の支払額	△36,067	△76,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	394,484	△129,363
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△209,525	△317,873
有形固定資産の売却による収入	2,000	4,520
投資有価証券の取得による支出	△930	△938
その他	△1,689	△10,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,144	△325,189
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△100,200
長期借入れによる収入	80,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△15,640	△188,541
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
株式の発行による収入	364,260	40,800
新株予約権の発行による収入	-	16,326
自己株式の取得による支出	-	△179
財務活動によるキャッシュ・フロー	418,620	8,206
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	602,960	△446,346
現金及び現金同等物の期首残高	389,635	1,763,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	992,596	1,317,584

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ193,185千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,580,171千円、資本剰余金が1,574,562千円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子・通信 用機器事業	太陽光システ ム販売事業	太陽光発電所 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,382,096	414,764	23,490	1,820,351	—	1,820,351
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,382,096	414,764	23,490	1,820,351	—	1,820,351
セグメント利益 又は損失(△)	187,941	47,727	△13,621	222,047	△6,889	215,157

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,889千円は減価償却費の調整額△634千円及び事業セグメントに配分していないグループ管理部門の損益△6,255千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子・通信 用機器事業	太陽光システ ム販売事業	太陽光発電所 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,741,350	136,790	45,398	1,923,538	—	1,923,538
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,741,350	136,790	45,398	1,923,538	—	1,923,538
セグメント利益 又は損失(△)	257,095	△5,605	16,023	267,514	△55,173	212,341

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,173千円は減価償却費の調整額178千円及び事業セグメントに配分していないグループ管理部門の損益△55,351千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。